

## 第6次大河原町長期総合計画

# Ⅲ 資料編

1 長期総合計画の策定経過 .....	127
2 主要指標の見通し .....	135
3 住民満足度調査結果の概要 .....	143
4 おおがわらまちづくり公開セミナー .....	149
5 中学生未来会議 .....	150
6 第6次長期総合計画に係る住民懇談会 .....	151

# 1 長期総合計画の策定経過



## 【1】大河原町まちづくり審議会委員

町内外の有識者と、公募委員により、第6次大河原町長期総合計画に関する調査審議を行いました。委員は男性8名、女性7名の合計15名で構成され、そのうち公募委員については応募者8名から4名が選出されました。

氏名	部門	所属
姥浦 道生 (会長)	学識経験者	東北大学大学院工学研究科 准教授
松崎 信三	地域	小島区長
今野 智志	商工	大河原町商工会青年部 部長
小山 明子	教育	大河原小学校PTA役員
松井 誠子	農業	大河原町農地利用最適化推進委員
佐々木 美恵子 (副会長)	福祉	大河原町社会福祉協議会事務局長
水戸 雅彦	文化	仙南芸術文化センター 館長
渡辺 卓也	観光	大河原町観光物産協会 副会長 (30年6月 同会長)
岩淵 礼子	NPO	NPO法人 子ども育成支援団体 キハト会 理事長
津田 春智	青年	さくら青年会議所 理事長
平間 恵	町外者	フリーアナウンサー
阿部 加奈子	公募住民	
安藤 あき子	公募住民	
本木 仁	公募住民	
田高 修一	公募住民	

回・日程	主な協議内容
第1回 (平成29年5月30日)	○審議会の役割 ○第6次長総の策定方針
第2回 (7月26日)	○第6次長総のコンセプト ○実施計画 ○住民満足度調査の結果等
第3回 (9月26日)	○基本計画における主な課題 ○人口フレーム ○策定スケジュール
第4回 (11月27日)	○基本構想骨子案 ○地区別懇談会での質疑・応答
第5回 (平成30年2月7日)	○基本構想骨子案 ○まちづくり審議会委員からの提言への回答 ○第四次国土利用計画
第6回 (4月24日)	○基本構想案の説明、質疑・応答 ○第四次国土利用計画案の説明、質疑・応答
第7回 (6月19日)	○基本構想修正案・基本計画案の説明、質疑・応答 ○パブリックコメント説明
第8回 (8月2日)	○パブリックコメント報告 ○基本構想・基本計画最終案・実施計画の説明 ○最終案の諮問・答申

## 【2】第6次大河原町長期総合計画基本構想・基本計画(案)に関する意見公募(パブリックコメント)について

本計画に対する意見を町民に広く求めるため、平成30年6月29日から7月20日まで、22日間にわたり基本構想・基本計画案に対する意見公募(パブリックコメント)を行いました。広報紙及び町ホームページで周知を図るとともに、企画財政課窓口にも配付用の計画案を備え付けました。

### ★実施概要

- 募集対象** ①一般町民、②町内に事務所又は事業所を有する個人及び法人、その他の団体(の代表者)、③町内の事務所又は事業所に勤務する者
- 実施期間** 平成30年6月29日～7月20日
- 応募方法** 企画財政課へ意見提出書を直接提出
- 実施結果** 意見提出なし

- 1 基本構想
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- II 基本計画
- 基本構想の概要
- 第1章
- 第2章
- 第3章
- 第4章
- 第5章
- 第6章

### III 資料編

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6



【3】第6次大河原町長期総合計画諮問

大企第278号  
平成30年8月2日

大河原町まちづくり審議会  
会長 姥浦 道生 殿

大河原町長 齋 清志

第6次大河原町長期総合計画基本構想・基本計画(案)について(諮問)

2029年度を目標年次とする第6次大河原町長期総合計画基本構想・基本計画(案)を別紙のとおり定めたいので、貴審議会の意見を求めます。

【4】第6次大河原町長期総合計画答申

平成30年8月2日

大河原町長 齋 清志 殿

大河原町まちづくり審議会  
会長 姥浦 道生

第6次大河原町長期総合計画基本構想・基本計画(案)について(答申)

平成30年8月2日付け大企第278号で諮問のありました、第6次大河原町長期総合計画基本構想・基本計画(案)について、慎重に審議した結果、大河原町の今後の行政運営の指針として適切なものと認めます。

なお、計画の実現にあつては、下記の事項に十分留意され、計画の円滑な推進を要望します。

記

- 1 住民自治、住民主権を政策形成の根本とし、住民が主役のまちづくりを推進すること。また、郷土を誇りとし、誰もが生きがいをもちて暮らせる施策を積極的に展開すること。
- 2 東日本大震災など自然災害の経験と教訓を活かし、災害に強い町づくりや医療体制の充実など、町民の生命の安全と暮らしの安心を守る街づくり、体制強化に努めること。
- 3 大河原町を未来につなげるため、町の個性と強みを生かした魅力あるまちづくりの推進と情報発信により、人口減少の抑制を図り、まちの賑わいと活力創出に取り組むこと。
- 4 周辺市町や地元企業等との連携を深めながら、時代の多様なニーズに対しリーダーシップを持って取り組むこと。
- 5 情報共有により住民合意を図りつつ持続可能な財政運営に努め、分かりやすい行政改革と、住民の求めるサービスを公平・公正に提供できる役場経営を推進すること。

I	基本構想
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
II	基本計画
	基本構想の概要
	第1章
	第2章
	第3章
	第4章
	第5章
	第6章
III	資料編
1	
2	
3	
4	
5	
6	

# 1 長期総合計画の策定経過



## 【5】第6次大河原町長期総合計画の 大河原町議会全員協議会への説明

○第6次大河原町長期総合計画に係る骨子案について

- (1)実施時期 平成30年2月9日
- (2)説明内容 ①第6次長期総合計画に係る骨子案

○第6次大河原町長期総合計画基本構想・基本計画(案)について

- (1)実施時期 平成30年6月6日
- (2)説明内容 ①大河原町実施計画(平成30年度～平成32年度)  
②第6次大河原町長期総合計画基本構想・基本計画(案)

○第6次大河原町長期総合計画基本構想・基本計画(最終案)について

- (1)実施時期 平成30年8月20日
- (2)説明内容 ①第6次大河原町長期総合計画基本構想・基本計画(最終案)  
②今後の進め方と実施計画<平成31年度～平成33年度>

## 【6】第6次大河原町長期総合計画の大河原町議会議決

○第6次大河原町長期総合計画基本構想及び基本計画を定めることについて

議決月日 平成30年9月12日(議案第48号)

## 【7】第6次大河原町長期総合計画及び 大河原町国土利用計画(第四次)策定委員

庁議メンバー(課長級以上の職員)により構成され、基本構想及び基本計画案及び国土利用計画案を調整しました。

所属	職名	氏名	備考(平成30年4月1日異動)
	町長	齋 清志	委員長
	副町長	藤田 秀明	副委員長
	教育長	齋 一志	
	会計管理者	佐藤 和弘	
総務課	課長	佐藤 公	
企画財政課	課長	木村 淳一	策定事務局
税務課	課長	吉野 健一	(瀬戸 恵美)
町民生活課	課長	佐藤 京子	
健康福祉課※	課長	二瓶 武志	みやぎ県南中核病院企業団 ※H30～福祉課と健康推進課に分割
福祉課	課長		(菊地 仁美)平成30年4月1日新設
健康推進課	課長		(川村ふじ子)平成30年4月1日新設
子ども家庭課	課長	鈴木 邦弘	
農政課	課長	日下 正信	(我妻 功)
商工観光課	課長	遠藤 和彦	(長谷川 一正)
地域整備課	課長	半澤 政昭	
上下水道課	課長	佐藤 淳	
議会事務局	課長	佐藤 秀悦	
教育総務課	課長	尾形 彰	
生涯学習課	課長	大槻 文彦	(八島 良隆)

## 【8】第6次大河原町長期総合計画及び 大河原町国土利用計画(第四次)策定委員会

総合計画等策定委員会:庁議メンバーにより構成、計画原案を調整しました。(委員17名)

回・日程	主な協議内容
第1回(平成29年4月26日)	●第6次長総の策定方針及びスケジュール
第2回(8月3日)	●第6次長総のコンセプト ●第四次国土利用計画の構成案 ●住民満足度調査の結果
第3回(10月5日)	●国土利用計画における大規模事業の位置づけ ●総合計画策定に向けた課題
第4回(12月22日)	●基本構想骨子案 ●まちの将来像 ●キャッチフレーズ
第5回(平成30年4月12日)	●基本構想案 ●第四次国土利用計画の概要
第6回(8月9日)	●基本構想・基本計画最終案 ●実施計画の概要

- 1 基本構想
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- II 基本計画
- 基本構想の概要
- 第1章
- 第2章
- 第3章
- 第4章
- 第5章
- 第6章

- III 資料編
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6

# 1 長期総合計画の策定経過



## 【9】第6次長期総合計画・第四次国土利用計画策定専門部会委員

庁内職員で構成、6つの施策分野ごとの計画原案を作成しました。会議は各6～8回開催(合計44回)しました。

### I 暮らしを守るプロジェクト【生活環境部会委員】

平成30年度			平成29年度		
所 属	職 名	氏 名	所 属	職 名	氏 名
上下水道課	課長補佐	菊地 雅子	上下水道課	下水道管理係長	菊地 雅子
総務課	消防防災係長	佐藤 義則	総務課	消防防災係長	佐藤 義則
総務課	秘書広報係長	中河原ひろみ	総務課	秘書広報係長	中河原ひろみ
地域整備課	建築住宅係長	小野寺 堅一	地域整備課	建築住宅係長	小野寺 堅一
町民生活課	課長補佐	菊地 芳徳	町民生活課	課長補佐	前元 一也
福祉課	介護保険係	大下 敬司	健康福祉課	介護保険係	大下 敬司

### II 生命(いのち)と健康を守るプロジェクト【保健福祉部会委員】

平成30年度			平成29年度		
所 属	職 名	氏 名	所 属	職 名	氏 名
子ども家庭課	課長補佐	長谷川早苗	子ども家庭課	課長補佐	瀬戸 恵美
健康推進課	課長補佐	齋 修	町民生活課	課長補佐	齋 修
健康推進課	健康推進係長	木村 三恵	健康福祉課	健康推進係長	木村 三恵
福祉課	障害福祉係長	吉廣 彰子	健康福祉課	障害福祉係長	吉廣 彰子
包括支援センター	社会福祉士	菊池 智美	包括支援センター	社会福祉士	菊池 智美
総務課	秘書広報係	高橋 玲央	総務課	秘書広報係	高橋 玲央

### III 町土を守るプロジェクト【街づくり・土地利用部会委員】

平成30年度			平成29年度		
所 属	職 名	氏 名	所 属	職 名	氏 名
農政課	課長補佐	齋藤 郁夫	農政課	課長補佐	齋藤 郁夫
地域整備課	課長補佐	前元 一也	地域整備課	課長補佐	菊地 芳徳
地域整備課	課長補佐	成川 賢	地域整備課	課長補佐	成川 賢
上下水道課	課長補佐	八重樫 茂	上下水道課	課長補佐	八重樫 茂
教育総務課	施設管理係	長山 孝治	教育総務課	施設管理係	長山 孝治
町民生活課	環境衛生係	水野 愛	町民生活課	環境衛生係	水野 愛

### 国土利用計画策定委員

平成30年度			平成29年度		
所 属	職 名	氏 名	所 属	職 名	氏 名
農政課	参事	高橋 孝夫	農政課	参事	高橋 孝夫
地域整備課	参事	佐々木 哲	地域整備課	参事	佐々木 哲
上下水道課	課長補佐	八重樫 茂	上下水道課	参事	我妻 功
地域整備課	課長補佐	前元 一也			

### IV 魅力とにぎわいを創る(一目千本桜・白石川)プロジェクト【産業・観光部会委員】

平成30年度			平成29年度		
所 属	職 名	氏 名	所 属	職 名	氏 名
商工観光課	課長補佐	菅野 敏洋	商工観光課	課長補佐	菅野 敏洋
商工観光課	商工観光係長	平野 隆	商工観光課	商工観光係長	平野 隆
農政課	農政係長	鈴木 浩	農政課	農政係長	鈴木 浩
会計課	課長補佐	吉野 博美	会計課	出納係長	吉野 博美
総務課	行政係	佐々木 潤	総務課	行政係	佐々木 潤
総務課	庶務人事係	工藤 麻里奈	町民生活課	保険給付係	古山 里奈

### V 学びと生きがいを創るプロジェクト【教育文化部会委員】

平成30年度			平成29年度		
所 属	職 名	氏 名	所 属	職 名	氏 名
教育総務課	学校教育専門監	池田 尚人	教育総務課	学校教育専門監	池田 尚人
教育総務課	課長補佐	佐藤 勝弘	教育総務課	課長補佐	佐藤 勝弘
生涯学習課	スポーツ推進係長	佐藤 朗博	生涯学習課	スポーツ推進係長	佐藤 朗博
生涯学習課	社会教育係	石河 千宙	生涯学習課	社会教育係	石河 千宙
農政課	農政係	富川 隆一	農政課	農政係	富川 隆一
税務課	課税係	佐藤 真子	商工観光課	商工観光係	佐藤 真子

### VI 役場経営プロジェクト【行財政部会委員】

平成30年度			平成29年度		
所 属	職 名	氏 名	所 属	職 名	氏 名
総務課	課長補佐	佐藤 圭一	企画財政課	課長補佐	佐藤 圭一
健康推進課	課長補佐	吉野 卓朗	税務課	課長補佐	吉野 卓朗
町民生活課	課長補佐	瀬川 玲子	町民生活課	課長補佐	瀬川 玲子
企画財政課	財政係長	伊藤 敏之	総務課	庶務人事係	橋本 光
税務課	固定資産係	瀬戸 裕次	税務課	固定資産係	瀬戸 裕次
福祉課	障害福祉係	高橋 達矢	議会事務局		佐藤 正明

### ◆策定事務局

所 属	職 名	氏 名	備 考(異動年度)
企画財政課	課 長	佐藤 公	(平成28年度)
企画財政課	課 長	木村 淳一	
企画財政課	課長補佐	長谷川 一正	(平成29年度)
企画財政課	課長補佐	櫻田 尚	
企画財政課	政策企画係長	蜂谷 朋香	
企画財政課	情報政策係長	泉 大輔	
企画財政課	主 事	樋口 大	(平成29年度)
企画財政課	主 事	佐藤 正明	

1	基本構想
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
II	基本計画
第1章	基本理念
第2章	第1節
第3章	第2節
第4章	第3節
第5章	第4節
第6章	第5節
III	資料編
1	
2	
3	
4	
5	
6	



# 2 主要指標の見通し



## 【1】将来人口

### ① 施策を講じない場合の人口推計

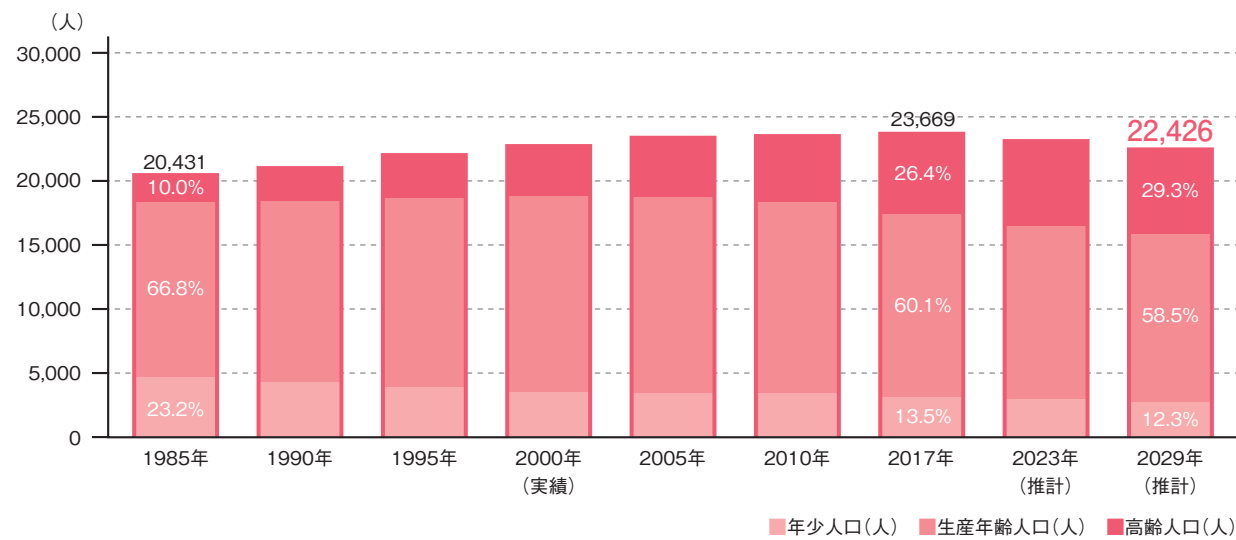
国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」といいます。)の「平成25年3月推計」を基にした推計を行い、本町の将来人口を予測しました。

<b>人口データ</b>	住民基本台帳人口(1985年～2017年) 1年間隔の将来人口を算出するため、1歳間隔人口を採用
<b>出生率の設定</b>	社人研仮定値
<b>生存率・純移動率</b>	社人研の生存率、純移動率の公表値は5年間隔となっているため、直線補完により、1年間隔の値を算出して適用
<b>推計開始</b>	2018年から

2017年(平成29年)現在の人口は23,669人となっていますが、総合計画の計画期間の最終年度の2029年(〇11年)には、人口が1,243人減少(5.3%減)し、22,426人となる見込みです。

年少人口は447人減少(14.0%減)、生産年齢人口は1,119人減少(7.9%減)、高齢人口は323人増加(5.2%増)となります。高齢人口は増加しますが、年少人口及び生産年齢人口の減少幅が大きいため、全体人口が減少し続けていきます。

■施策を講じない場合の将来人口推計



### ② 施策を講じた場合の人口推計

総合計画の施策により、出生数200人/年の維持、25人/年の社会増、健康寿命の延伸で死亡者数の抑制を見込んだ場合の人口推計では、2017年(平成29年)現在の23,669人と比較して、2029年(〇11年)には人口が635人減少(2.7%減)し、23,034人となる見込みです。

年少人口は237人減少(7.4%減)、生産年齢人口は941人減少(6.6%減)、高齢人口は543人増加(8.7%増)となります。

2029年に人口23,000人を維持するための条件は以下になります。

■条件①：2019年(平成31年)以降、人口減少下においても出生数200人を維持。

主な施策：若者の定住施策、子育て支援等  
【参考】H21～H29の0歳児人口(人)

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
209	249	182	186	206	221	209	217	188

■条件②：2020年(〇2年)以降、転入増・転出減で毎年社会増約25人を維持。

主な施策：雇用創出施策、定住促進施策等  
【参考】H21～H29の人口社会増減(人)

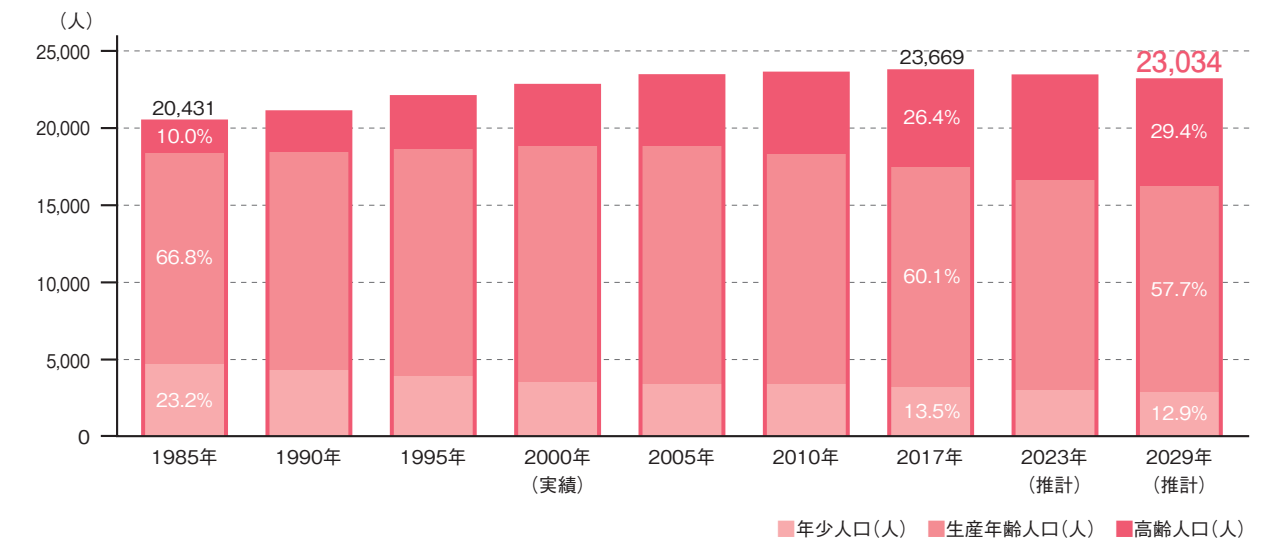
H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
-74	-27	+266	+49	+2	-27	-53	-8	+114

■条件③：2019年(平成31年)以降、高齢人口が増え続ける中、健康寿命の延伸で死亡者数を抑制。

主な施策：医療制度の充実、健康増進施策  
【参考】H21～H29の死亡者数(人)

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
221	218	241	237	199	196	235	250	254

■施策を講じた場合の将来人口推計



- 1 基本情報
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- II 基本計画
- 基本情報
- 第1章
- 第2章
- 第3章
- 第4章
- 第5章
- 第6章
- III 資料編
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6

## 2 主要指標の見通し



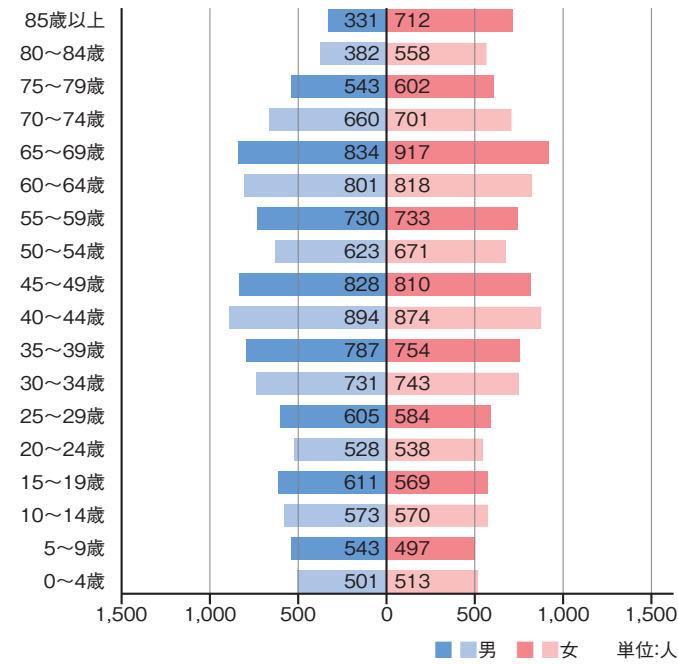
### ③ 人口構成の変化

2017年(平成29年)現在の大河原町の人口構成は40～44歳、65～69歳の人口が多い、ひょうたん型の人口構成となっています。

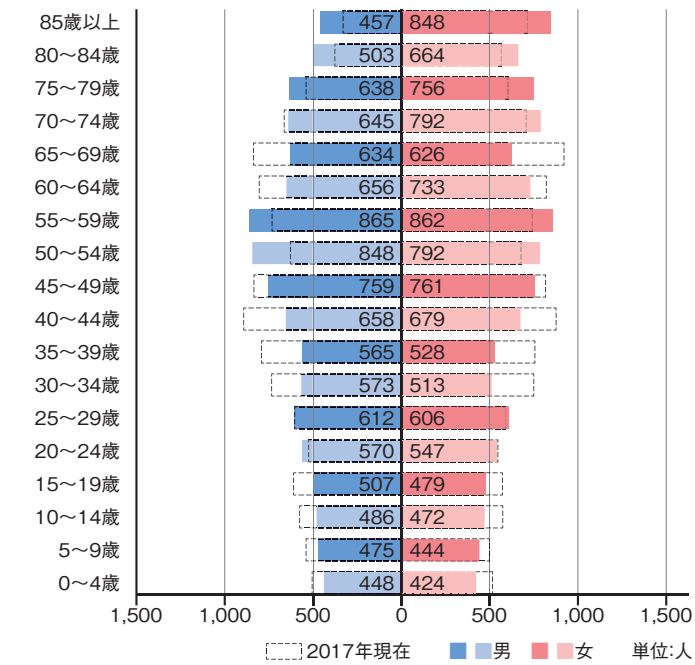
計画最終年の2029年(〇〇11年)では、50～59歳が最も多くなり、70歳以上の高齢者は増加し、39歳以下はおおむね減少しています。

施策の実施により、全年齢層で人口増加を図りますが、特に次世代を支える14歳以下の年少人口の増加を目指します。

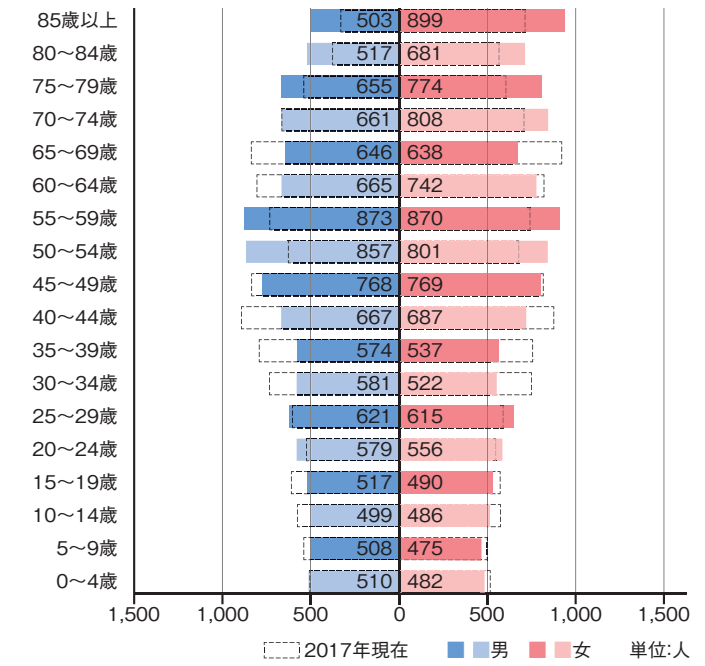
■ 現在2017年(平成29年)の人口構成



■ 計画最終年 2029年(〇〇11年) 施策実施なしの人口構成



■ 計画最終年 2029年(〇〇11年) 施策実施ありの人口構成



行政区自主防災組織の防災訓練

- I 基本構想
  - 1
  - 2
  - 3
  - 4
  - 5
  - 6
  - 7
  - 8
  - 9
  - 10
  - 11
- II 基本計画
  - 基本構想の体系
  - 第1章
  - 第2章
  - 第3章
  - 第4章
  - 第5章
  - 第6章
- III 資料編
  - 1
  - 2
  - 3
  - 4
  - 5
  - 6

## 2 主要指標の見通し



### 【2】世帯数

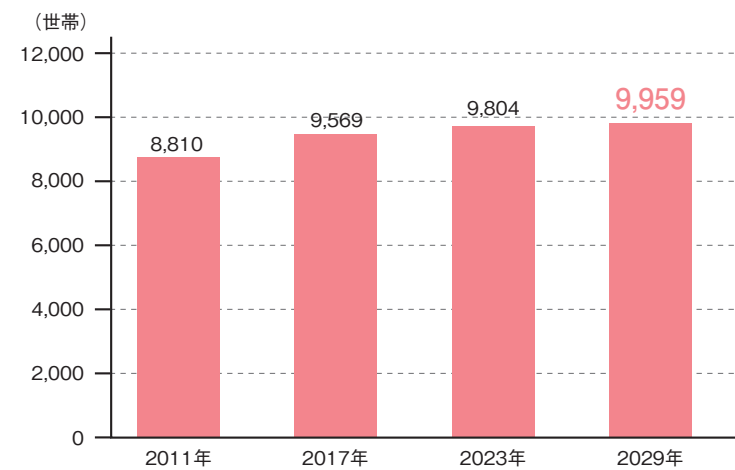
宮城県 の推計結果や大河原町の第5次長期総合計画で示されている世帯数推計も参考にしながら、1世帯当たりの人口から推計した多項式回帰式による推計により、本町の将来における世帯数を推計しました。

**人口・世帯数** 住民基本台帳人口(1985年～2017年)

**推計開始** 2023年から

2017年(平成29年)現在の世帯数は9,569世帯となっていますが、総合計画の計画期間の最終年度の2029年(〇〇11年)には、10,000世帯程度となる見込みです。

■将来における世帯数の見込み



### 【3】就業者数

累乗回帰式による推計により、本町の将来における産業別就業者数を推計しました。

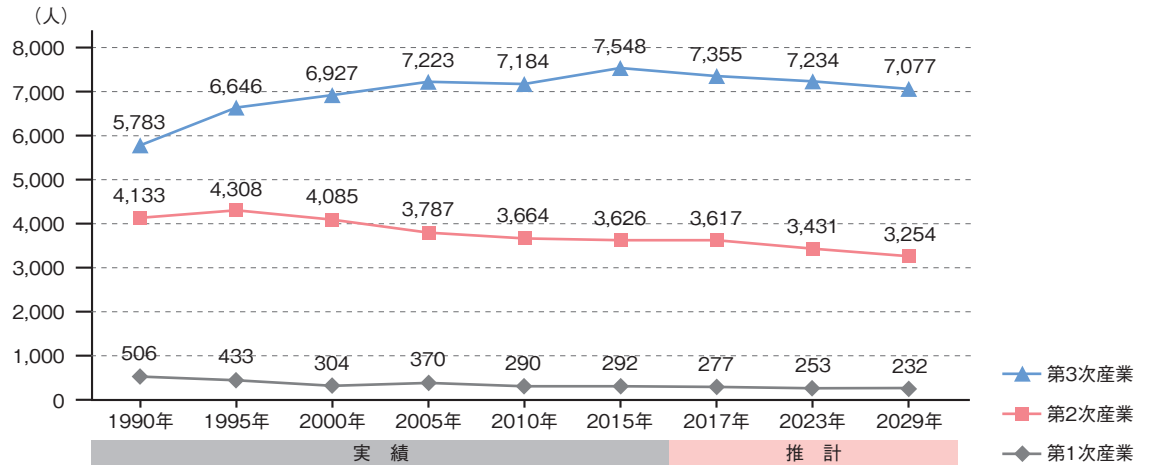
**産業別就業者数** 国勢調査(1990年～2015年)

**推計開始** 2017年から

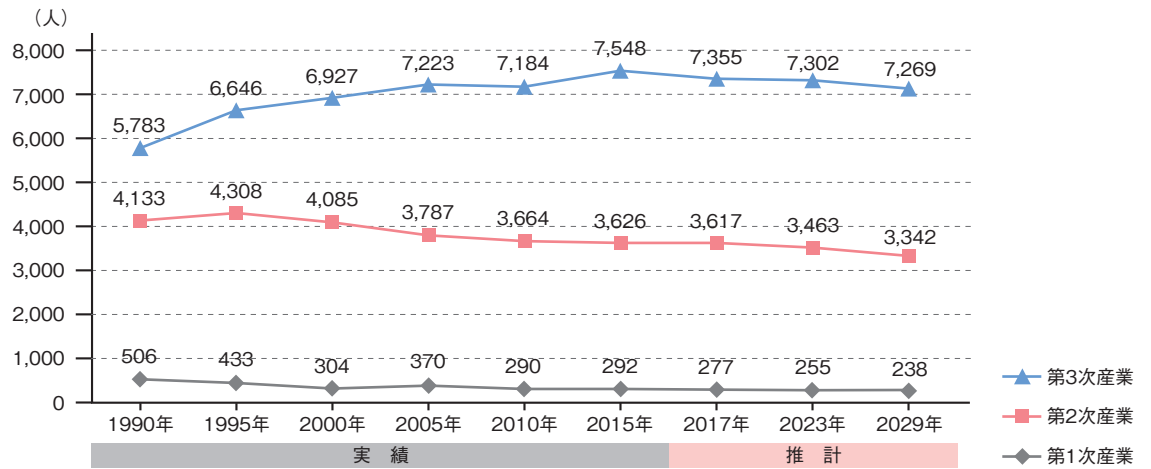
2017年(平成29年)の産業別就業者数は第1次産業が292人、第2次産業が3,626人、第3次産業が7,548人となっていますが、総合計画の計画期間の最終年度の2029年(〇〇11年)には、第1次産業が232人、第2次産業が3,254人、第3次産業が7,077人となる見込みです。

また、総合計画の施策実施効果により、2029年(〇〇11年)に人口23,034人を見込んだ場合、第1次産業が238人、第2次産業が3,342人、第3次産業が7,269人となる見込みであり、2023年、2029年における第3次産業がやや回復する見込みです。

■累乗回帰を用いた産業別就業者数の推計 産業別就業者数の推計(施策を講じない場合)



■累乗回帰を用いた産業別就業者数(総合計画の効果を見込んだ場合)の推計 産業別就業者数の見込み(施策を講じた場合)



- 1 基本情報
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- II 基本計画
- 基本計画の概要
- 第1章
- 第2章
- 第3章
- 第4章
- 第5章
- 第6章
- III 数値編
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6



## 2 主要指標の見通し



### 【4】町内総生産・町民所得(分配)

累乗回帰式による推計により、本町の将来における産業別町内総生産を推計しました。

**産業別就業者数** 国勢調査(2005年～2015年)

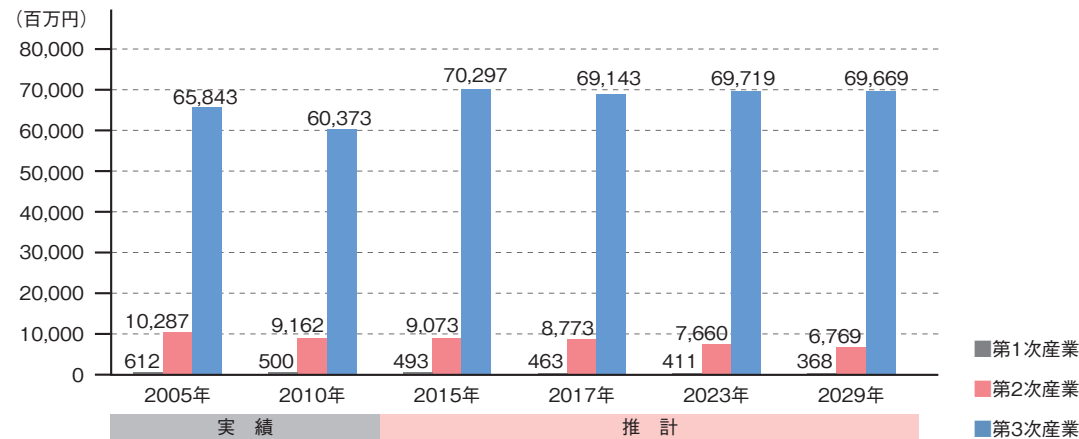
**産業別町内総生産** 宮城県資料(2005年、2010年)

**推計開始** 2015年から

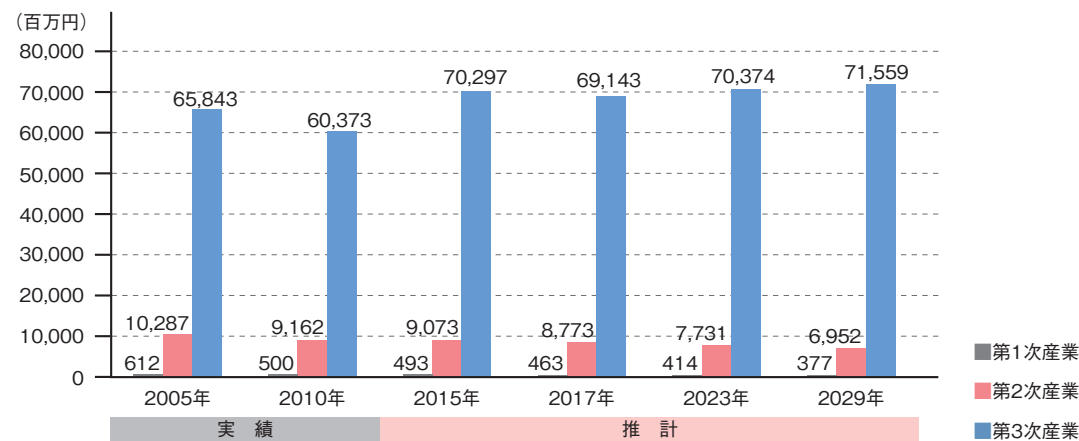
平成22年(2010年)の産業別町内総生産は第1次産業が約5億円、第2次産業が約92億円、第3次産業が604億円となっていますが、総合計画の計画期間の最終年度の2029年(〇〇11年)には、第1次産業が約3.7億円、第2次産業が68億円、第3次産業が697億円となる見込みです。

また、総合計画の施策実施効果により、2029年(〇〇11年)に人口23,034人を見込んだ場合、第1次産業が約3.8億円、第2次産業が約70億円、第3次産業が716億円となる見込みであり、2023年、2029年における第3次産業がやや上昇する見込みです。

■産業別町内総生産の見込み(施策を講じない場合)



■産業別町内総生産の見込み(施策を講じた場合)



### 【5】前期計画5か年度の財政見通し

2019年(平成31年度)を初年度とする2023年(〇〇5年)までの5年の実施計画事業を考慮した財政の見通しを示します。

■2019年度(平成31年度)～2023年(〇〇5年)前期計画期間の財政の見通し

(単位：千円)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
地方税	2,760,347	2,757,328	2,754,355	2,751,427	2,748,543
地方交付税	1,442,720	1,445,445	1,448,176	1,450,913	1,453,655
地方譲与税・交付金・その他一般財源等	1,261,073	1,181,073	1,061,073	1,061,073	1,061,073
歳入一般財源 A	5,464,140	5,383,846	5,263,604	5,263,413	5,263,271
歳出一般財源 B	6,025,528	5,815,025	5,543,320	5,422,722	5,498,927
形式収支 A-B	△561,388	△431,179	△279,716	△159,309	△235,656
財政調整基金残高	1,375,995	1,100,173	975,814	971,862	891,563

(財政調整基金は、平成30年3月末現在19億21,022千円から平成30年度財源不足を差引、毎年度基金利子5,357千円を加算、前年度繰越金1億5千万円を加算、後年度も同様とした。)

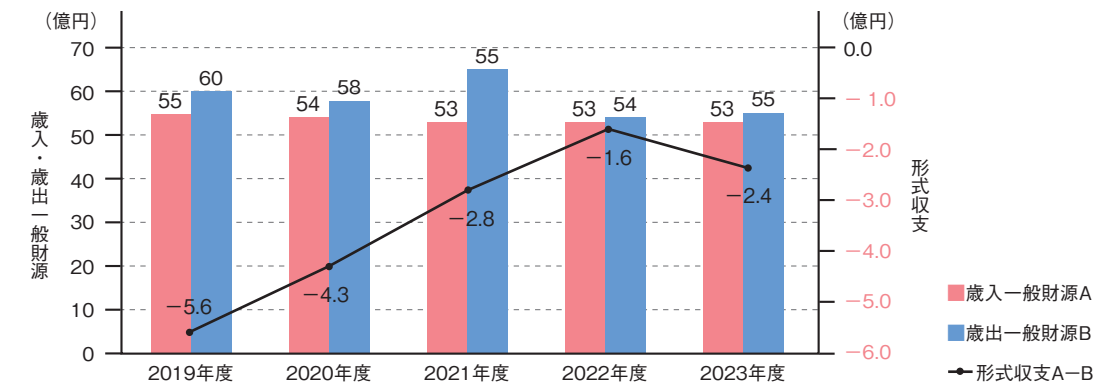
※本財政の見通しは、平成29年5月末現在で把握している財政資料に基づいて作成している。

※本財源の見通し期間内において財源不足を生じる可能性があり、人件費・物件費・投資的経費の圧縮を行っている。

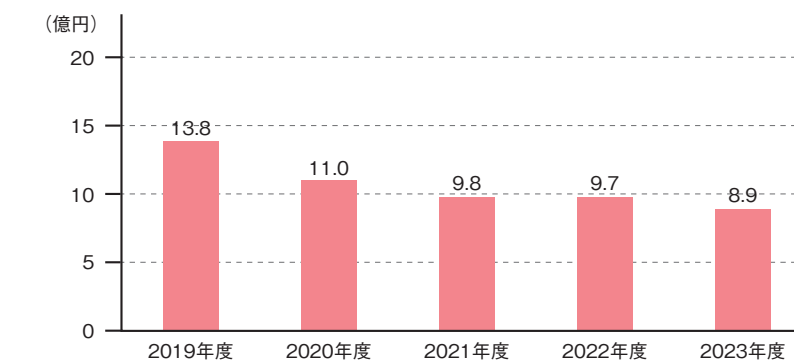
※平成30年度予算を基準に後年度に増減するものを算入している。固定資産台帳を基に耐用年数が終了するものを建替えすると想定して費用を算入している。

※前年度繰越金を1億7千万円と推計。予算の繰越金2千万円を差引き、毎年1億6千万円を財政調整基金に積立て、前年度剰余金の2分の1の積立てだが、試算の関係で全額を積立て。

■歳入・歳出一般財源と形式収支の見込み



■財政調整基金残高の見込み



- 1 基本情報
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- II 基本計画
- 1 基本計画の概要
- 第1章
- 第2章
- 第3章
- 第4章
- 第5章
- 第6章
- III 資料編
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6

# 3 住民満足度調査結果の概要



## 【1】調査の概要

### ★目的

「第6次大河原町長期総合計画」の策定にあたり、まちづくりに対する意向や行政サービスに係る意識(満足度)などを調査し、計画に反映することを目的として実施しました。

### ★調査方法

- 配布対象** 町内の満18歳以上の住民から1,500名を無作為抽出
- 配布回収** 配布回収ともに郵送
- 配布数** 1,500票
- 調査期間** 平成29年5月15日～平成29年5月31日

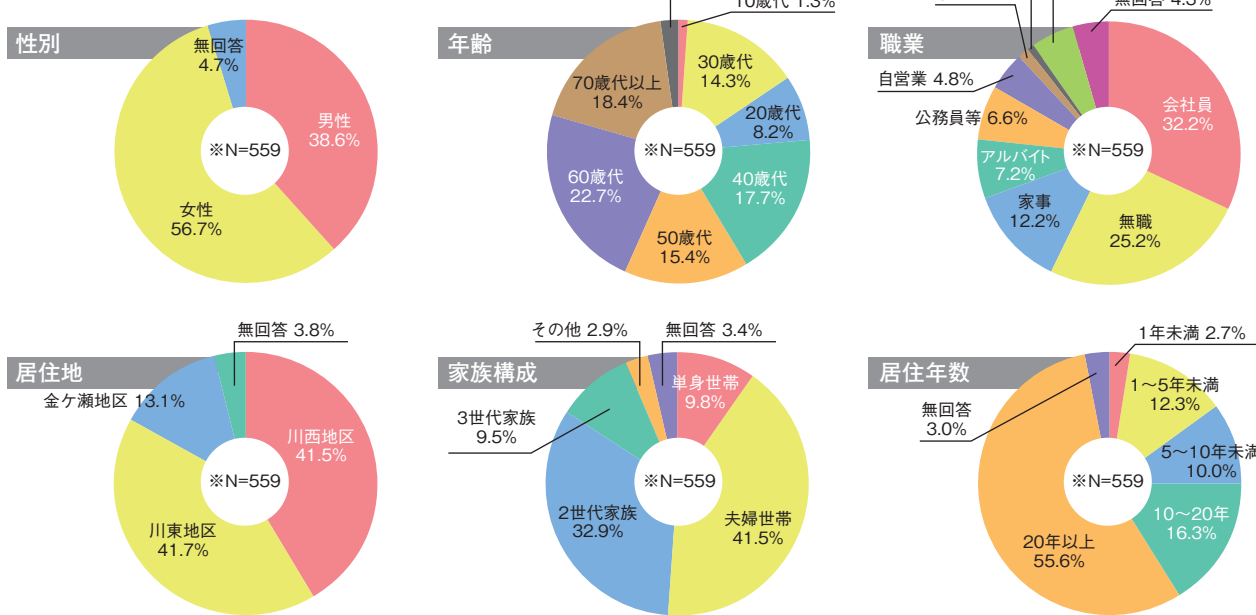
### ★アンケート票の構成

設問の構成	設問の概要
大河原町の行政施策・取組みの評価	大河原町にお住まいの皆さんからみた、大河原町の行政施策・取組みに対する満足度・必要度(優先度)について伺いました。
大河原町のまちづくりについての考え	大河原町にお住まいの皆さんのまちづくりについての考えを伺いました。
大河原町の今後の土地利用や環境保全・形成についての考え	大河原町にお住いの皆さんの今後の土地利用や環境保全等の考えについて伺いました。
回答者の属性	アンケート結果を統計的に分析するために、回答者の属性について伺いました。

## 【2】調査結果

★有効回答数 559 票(回収率:37.3%)

### ★回答者の属性



### ★満足度の分析

- 全体的に前回調査よりも満足度が低下している施策が多い状況です。
- 前回評価よりも満足度が上昇した施策は、「子育て支援の充実」、「企業誘致の推進」がともに+0.2であり、「子育て支援の充実」については、子ども医療費無料化の18歳までの拡大、所得制限の撤廃が評価、「企業誘致の推進」は川根工業団地への企業立地、工場拡幅が評価されたものと考えます。
- ほかには、「分かりやすい情報公開の推進と情報共有」、「健康づくりの推進」、「福祉の充実」、「親切で親しまれる窓口サービスの推進」がともに+0.1となっています。
- 前回の満足度調査から満足度が低いままになっているのは「安全で便利な道路の整備と維持管理」、「商業・サービス業の活性化」となっています。
- 前回評価よりも満足度が大きく低下した施策は「空き家対策の推進」、「上水道の充実」がともに-0.5、「広域行政の推進」、「都市施設・公共交通の充実」がともに-0.4となっています。
- 「空き家対策の推進」について低評価を付けた人の意見では、空き地の草刈り等の手入れをしてほしいとの意見や、高齢者の単身世帯・夫婦世帯の増加をにらみ、グループホーム等への借り上げ転用等推進を希望する意見がありました。
- 「上水道の充実」について低評価を付けた人の意見では、水道料金が高すぎるとの意見がありました。

### ★必要度の分析

- 必要度は、ほとんどが現状維持(4.0)以上の充実・拡大を望む数値となっています。
- 前回評価よりも必要度が上昇した主な施策は、「学校施設・サービスの充実」(+0.3)、スポーツの振興(+0.2)、「広域行政の推進」(+0.1)となっています。
- 前回評価よりも必要度が低下した主な施策は「わかりやすい情報公開の推進と情報共有」、「商業・サービス業の活性化」、「親切で親しまれる窓口サービスの推進」、「役場組織の行政改革の推進」がともに-0.2となっており、要求が満たされてきた反面、中には満足度も低い施策もあり、単に必要と感じていないもととらえられます。
- 「わかりやすい情報公開の推進と情報共有」、「親切で親しまれる窓口サービスの推進」については、満足度が向上し、必要度が低下していることから、ある程度、改善が進んだものととらえられます。

### ★重点的に取り組むべき施策(必要度が高く、満足度が低い施策)

- 必要度が高く、満足度が低い「空き家対策の推進」、「広域行政の推進」、「安全で便利な道路の整備と維持管理」、「都市施設・公共交通の充実」、「企業誘致の推進」、「観光と地場産品の振興」、「学校施設・サービスの充実」が重点的に取り組むべき施策といえます。

- 1 基本情報
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- II 基本計画
- 基本計画の概要
- 第1章
- 第2章
- 第3章
- 第4章
- 第5章
- 第6章
- III 資料編
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6

### 3 住民満足度調査結果の概要

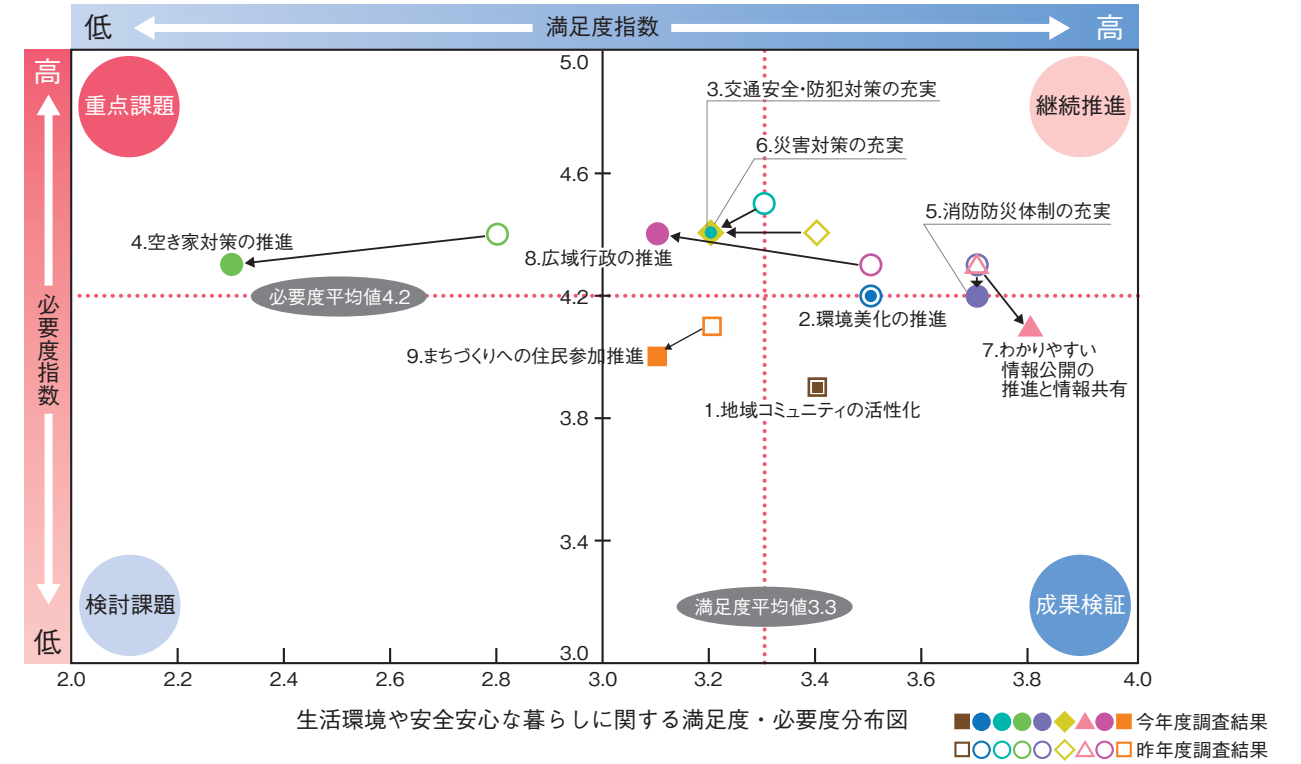


■満足度・必要度の評価値一覧 (単位：千円)

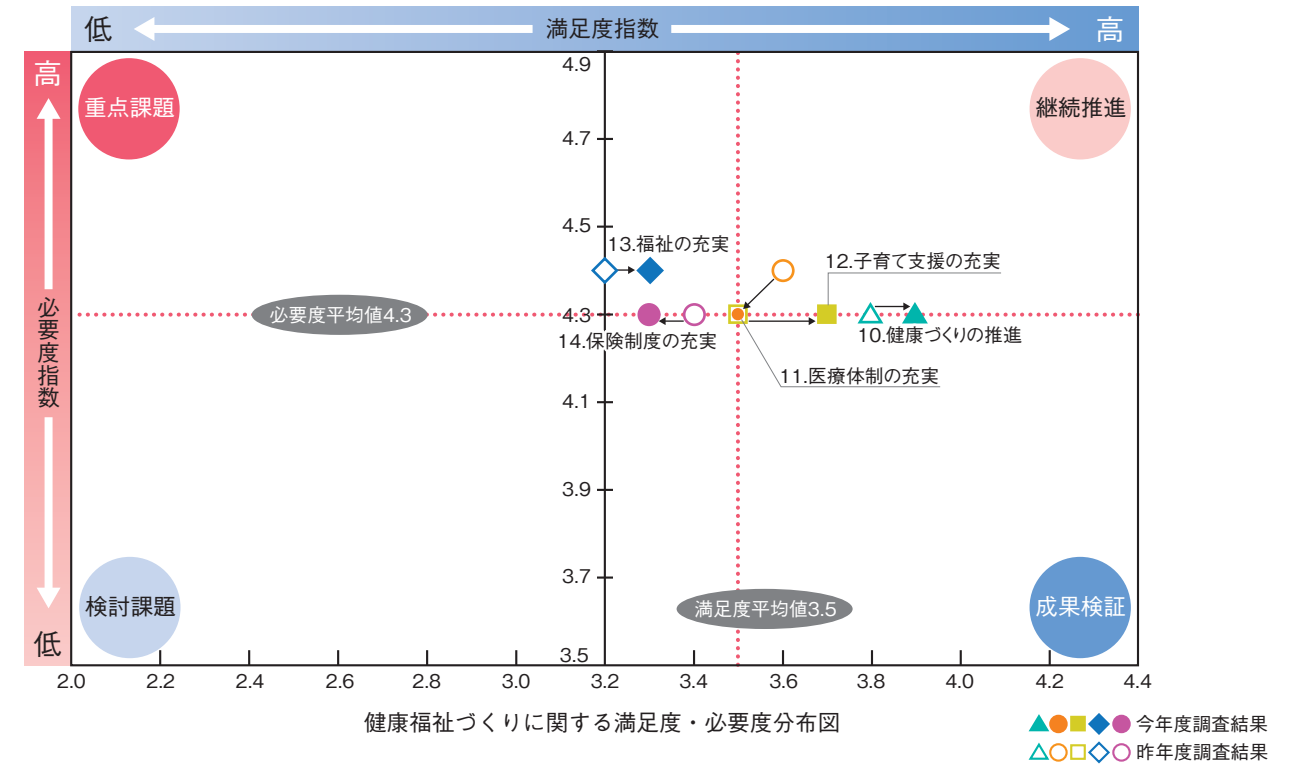
	今回調査結果		前回調査との比較		
	満足度	必要度	満足度	必要度	
生活環境や安全安心な暮らし	地域コミュニティの活性化	3.4	3.9	0.0	0.0
	環境美化の推進	3.5	4.2	0.0	0.0
	交通安全・防犯対策の充実	3.2	4.4	-0.2	0.0
	空き家対策の推進	2.3	4.3	-0.5	-0.1
	消防防災体制の充実	3.7	4.2	0.0	-0.1
	災害対策の充実	3.2	4.4	-0.1	-0.1
	わかりやすい情報公開の推進と情報共有	3.8	4.1	0.1	-0.2
	広域行政の推進	3.1	4.4	-0.4	0.1
	まちづくりへの住民参加促進	3.1	4.0	-0.1	-0.1
健康福祉づくり	健康づくりの推進	3.9	4.3	0.1	0.0
	医療体制の充実	3.5	4.3	-0.1	-0.1
	子育て支援の充実	3.7	4.3	0.2	0.0
	福祉の充実	3.3	4.4	0.1	0.0
	保険制度の充実	3.3	4.3	-0.1	0.0
都市基盤と街づくり	安全で便利な道路の整備と維持管理	2.8	4.6	-0.1	0.0
	都市施設・公共交通の充実	2.9	4.2	-0.4	-0.1
	上水道の充実	3.5	4.3	-0.5	0.0
	下水道の充実	3.4	4.3	-0.3	-0.1
	公園・緑地の整備	3.2	4.2	-0.2	0.0
産業と観光	農業支援の充実	3.3	4.2	-0.1	0.0
	商業・サービス業の活性化	3.0	3.9	-0.1	-0.2
	企業誘致の推進	3.1	4.4	0.2	0.0
	観光と地場産品の振興	3.1	4.4	0.0	-0.1
教育・文化	学校施設・サービスの充実	3.2	4.6	-0.3	0.2
	公民館・図書館の充実	3.1	4.3	-0.3	0.1
	文化・芸術	3.3	4.2	-0.3	0.0
	スポーツの振興	3.3	4.2	-0.1	0.2
役場の運営	親切で親しまれる窓口サービスの推進	3.6	4.2	0.1	-0.2
	役場組織の行政改革の推進	3.1	4.1	-0.1	-0.2

■増加 ■減少

■生活環境や安全安心な暮らし「満足度・必要度分布図」



■健康福祉づくり「満足度・必要度分布図」



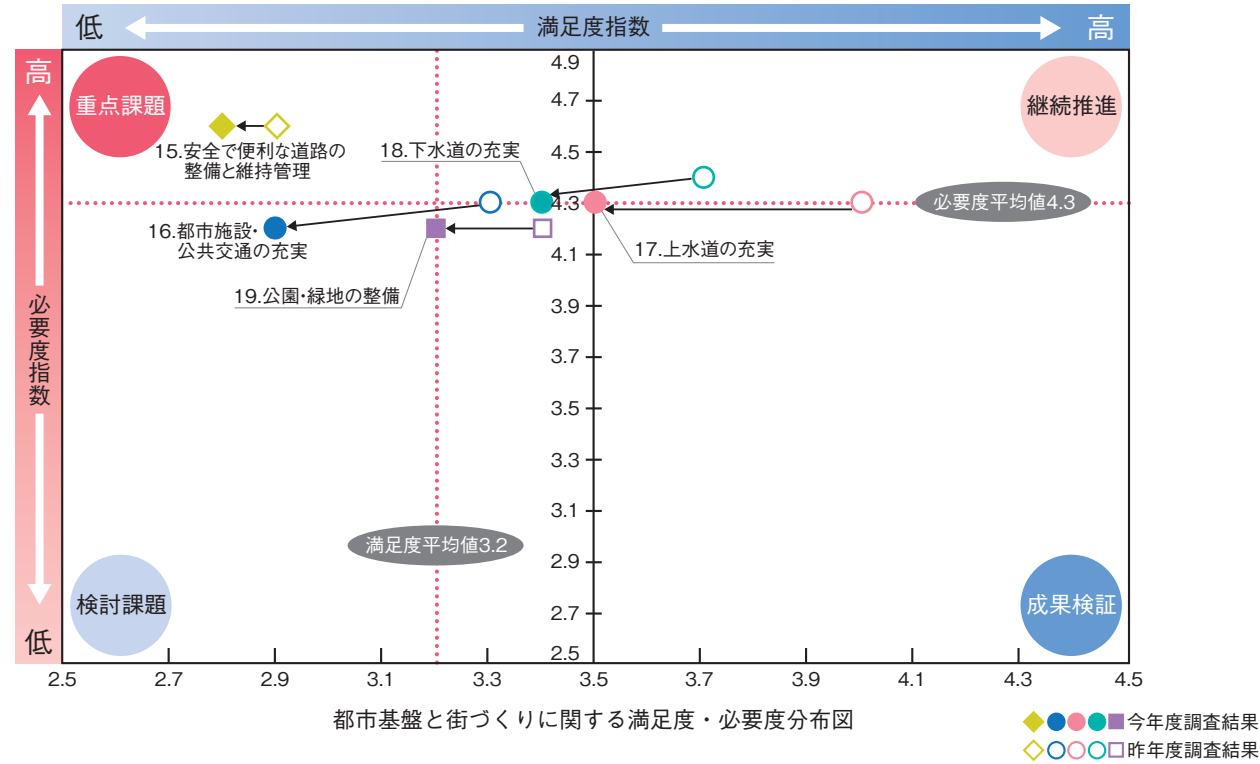
- 1 基本情報
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- II 基本計画
- 基本理念の体系
- 第1章
- 第2章
- 第3章
- 第4章
- 第5章
- 第6章
- III 資料編
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6

### 3 住民満足度調査結果の概要

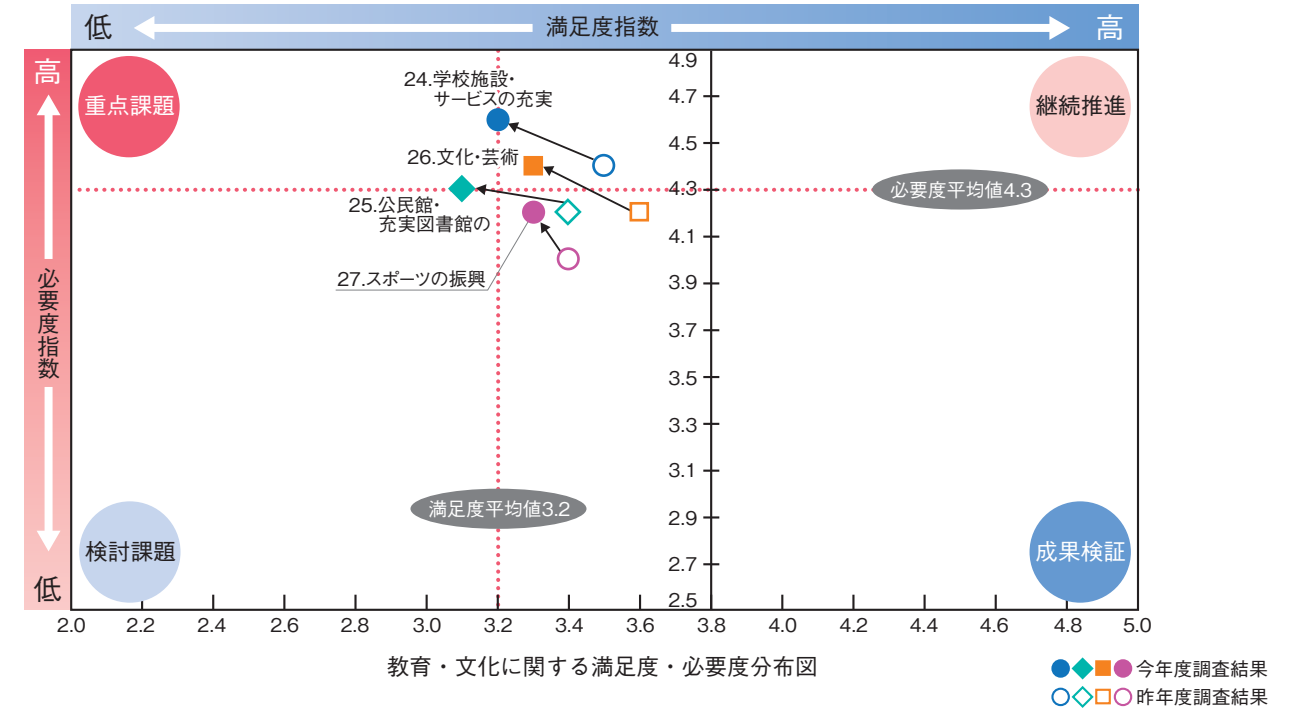


- I 基本情報
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- II 基本計画
- 基本理念の概要
- 第1章
- 第2章
- 第3章
- 第4章
- 第5章
- 第6章
- III 資料編
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6

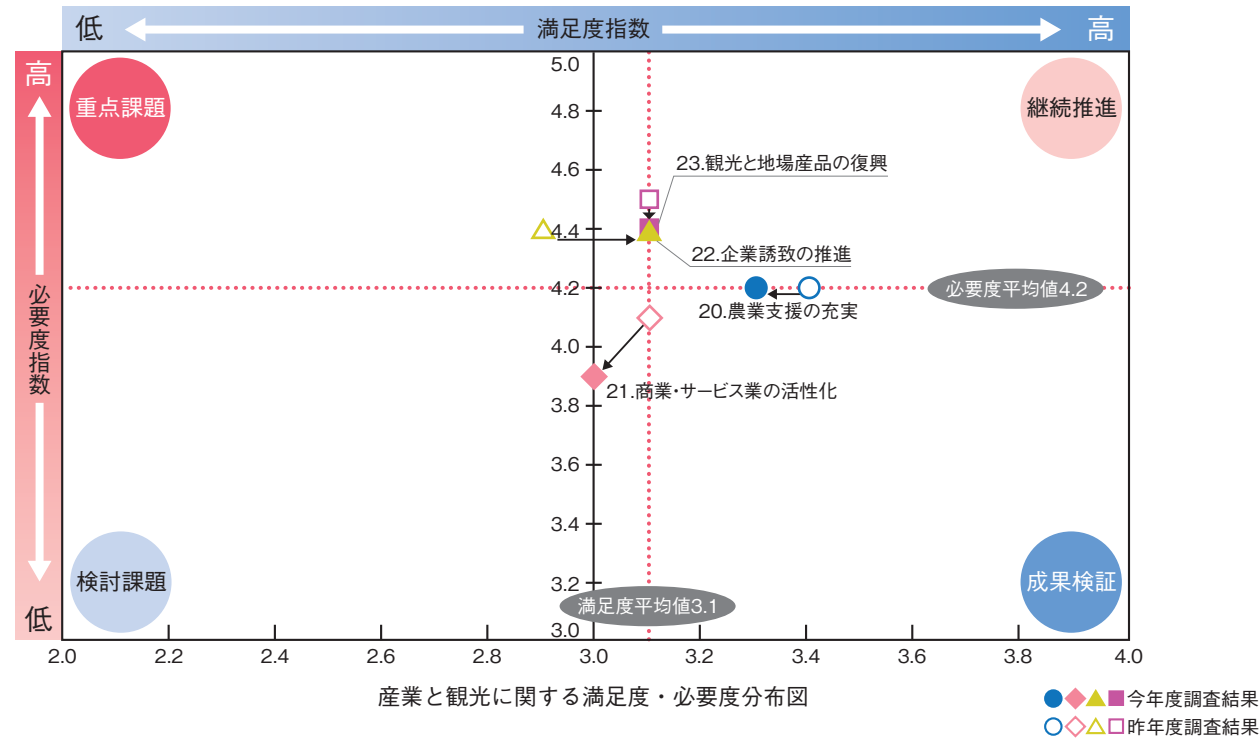
■都市基盤と街づくり「満足度・必要度分布図」



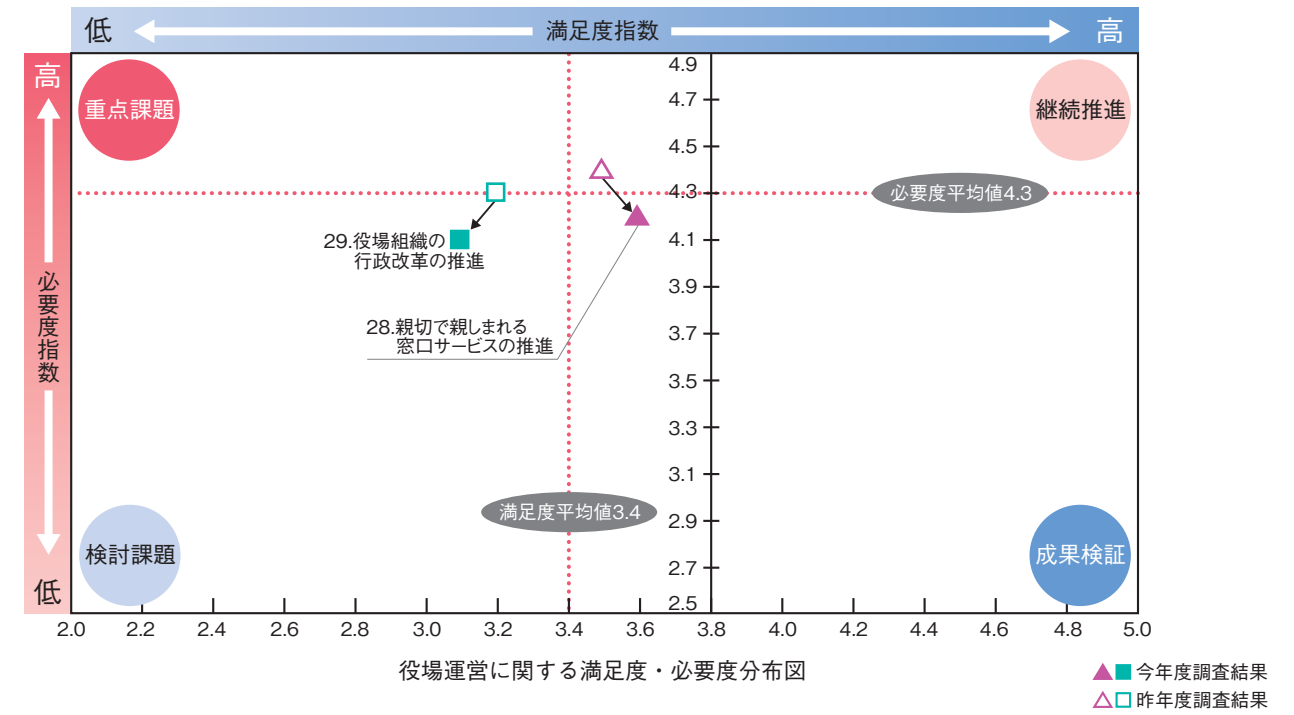
■教育・文化「満足度・必要度分布図」



■産業と観光「満足度・必要度分布図」

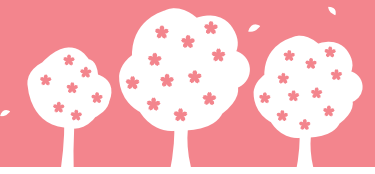


■役場運営「満足度・必要度分布図」





# 4 おおがわらまちづくり公開セミナー



## 【1】実施概要

住民参加の「まちづくり」について広く町民の理解を得るためのセミナーを開催しました。

### ＊日時

平成29年6月30日 会場：世代交流いきいきプラザ

### ＊講師

豊中駅前まちづくり会社 芦田 英機 氏 参加者：約100名

### ＊テーマ

「行政参加のくひらがなのまちづくりのスズメ」



# 5 中学生未来会議

## 【1】実施概要

「10年後のおおがわらを思い描く」をテーマに、まちの未来を担う中学生から見た「まちづくり」への考えや町の未来に対する思いを聞く場として開催しました。

### ＊開催日時

平成29年7月26日

### ＊会場

世代交流いきいきプラザ

### ＊参加生徒

大河原中学校2年生16名、金ヶ瀬中学校2年生9名 計25名

### ＊プログラム

時間	内容
9:00～9:35	開会・自己紹介・話し合いの進め方等
9:35～10:20	テーマ①「大河原町ってどんなまち？」
10:20～10:30	休憩（おやつタイム）
10:30～11:15	テーマ②「ずっと住みたいまちにする作戦」
11:15～11:40	まとめ・発表
11:40～11:50	閉会

### ＊開催結果

中学生から出された提案(発表テーマ):「人を呼び込め!」「学力向上作戦実施予定計画」  
「サクラで元気!サクラで笑顔!」など



- 1 基本構想
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- II 基本計画
- 基本構想の概要
- 第1章
- 第2章
- 第3章
- 第4章
- 第5章
- 第6章
- III 資料編
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6

# 6 第6次長期総合計画に係る住民懇談会



## 【1】開催概要

第6次長総に町民の意見を反映させるため、平成29年11月に町内5か所において、会場別にテーマを設定した「住民懇談会」を開催しました。

計画策定後、計画の概要説明と地域の課題についての話題提供の場として、平成31年1～2月に町内5か所において「まちづくり懇談会」を開催しました。

### 平成29年度住民懇談会 ～地域の「この先10年の話」しませんか～

回・日程	テーマ	会場・参加人数
第1回 (平成29年11月8日夜間)	①白石川右岸河川敷整備について ②将来的な公共施設のあり方について	南小学校アセンブリホール 43名
第2回 (11月11日午前)	①将来的な公共施設のあり方について ②農業を中心とした産業振興について	金ヶ瀬公民館 17名
第3回 (11月11日午後)	①一目千本桜の保護と活用について ②駅前や商店街活性化について	世代交流いきいきプラザ 11名
第4回 (11月13日夜間)	①西地区の将来像について	橋本交流センター 39名
第5回 (11月14日夜間)	①中央公民館リニューアル事業と 商店街活性化について ②行政区の見直し、子育て支援について	大河原町役場 23名



### 平成30年度まちづくり懇談会 ～“ひと・まち・桜が咲きほこる先進のまち”を目指して～

回・日程	テーマ	会場・参加人数
第1回 (平成31年1月22日夜間)	①白石川右岸河川敷整備と地域おこし、産業振興 ②地域の安全・安心（空き家等）対策	南小学校アセンブリホール 20名
第2回 (1月23日夜間)	①公共施設の維持・管理と地域コミュニティ ②地域ぐるみの健康増進と地域包括ケアシステム等	金ヶ瀬公民館 23名
第3回 (2月5日夜間)	①地域の安全安心（防災・内水）対策 ②子育て世代を支える施策（桜保育所等）	世代交流いきいきプラザ 13名
第4回 (2月6日夜間)	①農地の管理とほ場整備等について ②地域ぐるみの健康増進と地域包括ケアシステム等	橋本交流センター 30名
第5回 (2月7日夜間)	①一目千本桜の保護・活用と街なかのにぎわい創出 ②公共施設の維持・管理と地域コミュニティ	大河原町役場 26名

- 1 基本構想
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- II 基本計画
- 第1章
- 第2章
- 第3章
- 第4章
- 第5章
- 第6章

- III 資料編
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6

## 第6次大河原町長期総合計画

---

平成31年3月

発行／大河原町

制作／大河原町企画財政課

〒989-1295 宮城県柴田郡大河原町字新南19番地  
TEL 0224-53-2112 FAX 0224-53-3818

---